



小松地先市有地の残土問題

問 今後の対応予定およびその費用を伺います。

答 建設環境部長 現時点での対応費用として、土砂撤去に関する調査や適切な維持管理に要する経費、工事請負費等を合わせて、3817万円を今定例会に提出の補正予算に計上しています。

なお、その内訳は次のとおりです。

- ① 小松地先市有地の仮囲いの中・外周部の除草作業費用として22万円
- ② 土砂撤去を行うために必要な測量業務委託料として584万円
- ③ 定期的な調査が必要とされている水質調査と地下水調査費用および土壌調査に要する費用として1012万円
- ④ 小松地先において集中豪雨等が発生した際の溢水対策工事費として291万円
- ⑤ 小松地先および森地先の土砂飛散防止対策費用として1868万円

⑥ 小松地先へのソーラー充電式防犯カメラ設置費用として40万円

問 これから予定されている近隣住民への対応を伺います。

答 建設環境部長 前述の補正予算を承認いただいた場合は、水質調査等を定期的に実施する予定であり、それらに対する住民説明会を本年6月下旬から7月に開催する予定です。

成東中学校周辺の災害対策

問 成東中学校新校舎整備事業として約3億1896万円が計上されていますが、昨年9月の台風13号接近による大雨被害の際、成東中学校周辺は作田川の氾濫により一帯が冠水しました。

さらに本中学校は指定一般避難所にもなっており、「未来の山武市の宝物」である子ども達の命が守れるのか大変危惧されますが、市の見解を伺います。

答 副市長 昨年の台風13号の際、成東中学校周辺では冠水被害が発生し、通行止めとなりました。近くを流れる作田川の氾濫が大きく影響しており、現在、河川改修を進める千葉県に対し、早期改善を強く要望しています。引き続き、災害に強いまちづくりを進めていきます。

【その他の質問】▼山武郡市環境衛生組合と東金市外三市町清掃組合の合併協議



子育て支援

問 市の財政状況から実施が困難とされる「給食費の無償化」と比べても比較的負担の少ない「ランドセル型リュックの無償配布」を提案しますが、市の見解を伺います。

答 教育部長 小中学校入学時、経済的に困窮する家庭に対し、就学援助制度による入学準備金を援助していますので、現段階では、ランドセル型リュックの無償配布は考えていません。また、ランドセルを使用する決まりはなく、各家庭で個性に応じたものを準備していただいています。

問 経済的な理由ではなく、すべての子育て世帯を対象とした施策が、近隣市町との差別化を図り、市のPRにも繋がると考えます。

山武市は本年4月、ランドセル型リュックの製作も手がける㈱モンベルと包括連携協定を締結しており、同社からは、本案に対して協力的な返事をいただいています。

ただいています。ランドセル型リュックの無償配布について、再度見解を伺います。

答 副市長 ランドセル型リュックの無償配布については、教育委員会と同じ考えであると、市長より聞いています。

スポーツ振興

問 昨年行われた「エンジョイスポーツin山武2023」の概要と参加延べ人数を伺います。

答 教育部長 市民体育祭に代わるスポーツイベントとして、昨年10月に実施したもので、自由参加型イベントとして参加募集を行いました。陸上競技部門やレクリエーション部門、軽スポーツ部門など合計12種目を構成し、469名の参加がありました。

問 追加種目として、団体競技を多く取り入れることで、地域コミュニティの育成につながると考えますが、見解を伺います。

答 教育部長 モルックや大縄跳びなどの団体種目については、参加者はもとより、観客からの盛り上がりも感じたところであり、準備委員会では、団体種目の追加と企業や各種団体への参加呼びかけを検討しています。

【その他の質問】▼山武市役所における温室効果ガス削減